

平成 29 年度 第 3 回 学校協議会

日 時：平成 30 年 3 月 5 日(月) 16:00~17:00

場 所：本校 校長室

参加者：学校協議会委員（福永氏、高木氏、山崎氏、志賀氏、村上氏）
浅田校長、および事務局（平野教頭、中川首席、境谷首席）

教頭より資料の説明

- 平成 29 年度学校経営計画および学校評価（案）
- 学校教育自己診断結果
- 平成 29 年度 12 月期授業アンケート
- 平成 29 年度 遅刻者数集計
- 校則（生徒心得）等

校長より報告

学校教育自己診断の結果は三年計画の最終年度ということで、4 年前との比較を載せている。多くの項目について保護者・生徒の満足度は高かった。教職員が日常的に話し合う、教育活動全般にわたる評価を行なうという点では、少し解消できたかと思うが、学校施設の構造的な問題もあり解決するのは難しい。生徒の振り返りシートは、模擬試験にも活用している。先生方も授業アンケートの振り返りを行うなど、生徒も先生も Check&Action に努めている。先生方には 50 分の授業で「何を身に付けさせたか」を求めている。理科や数学では問題演習で確認しやすいが、現代文や社会、英語などでは身に付いた実感を持たせるのは難しいと感じる。

進学に関して、今年度の結果はまだ出ていないが、生徒の志は高く、難関大学を多くが受験している。また、現 1 年生は例年以上に学力が維持できている。一方、3 年生の 12 月以後の遅刻数が増えた。校外での学習に傾斜したのが原因とみている。

協 議

はじめに志賀委員より塾の依存度が上がっているのか質問があった。校長より塾にどれだけ生徒が行っているのかは調査していないが、成績上位者には少ないと説明した。福永委員より「講習、補習などは役に立っている」とするポイントが高いが、学力層別に分析する必要がある。高木委員からは塾ではいわゆる学力は身に付くが、高い志を育てるには指導する教員のスキルにかかっているとご教示いただいた。また村上委員からは、すべての生徒に学校の授業をきっちり聞いて消化することで高い学力がつくことを分かってほしい。とご意見いただいた。

村上委員より図書室に設置している新聞が一紙だけであり、他の新聞も読み比べてほしいと指摘いただいた。校長から四紙そろえることが必要と感じているが、予算上の課題もあり検討すると回答した。山崎委員より、昨今社会では、学力に加え、コミュニケーション力などが強く求められているが、学校経営計画ではどの項目にあたるかと質問があった。校長より社会人基礎力の育成にあたる、学習でも行事でも目標は立てるが 100%実行できることが泉陽生の課題ですと回答した。村上委員より校則（生徒心得）に関連して、生徒はどの点を緩めてほしいと言っているか質問があった。校長からピアスと軽い茶髪を認めてほしいと言う声があるが、その必要性や体育の授業で危険であることなどの理由により認められないと指導していると回答した。

最後に、福永委員より C&A にしっかりと取り組む学校がよい学校である。また、近く告示される新学習指導要領では高大接続が課題となっている。次年度の協議会ではこの点も粗上にあがることが考えられ、委員の皆様からのご意見もいただきたいと提起があった。